



2026 年 9 月 14 日

アクサジャパン サステナビリティ活動レポート 2025

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長兼 CEO：クリストフ・アヴネル、以下「アクサジャパン」）は、アクサグループのサステナビリティ戦略の評価指標「AXA for Progress Index」に基づき、サステナビリティの取組みを推進しています。2025 年にアクサジャパンで取り組んだ主な活動についてご紹介いたします。

■ 持続可能性を高めるための取組みと戦略「AXA for Progress Index」

世界 52 の国と地域で事業を展開するアクサグループは、「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパス（存在意義）を体現するため、地球環境や地域社会の課題解決に向けた取組みを推進しています。

アクサグループは、自社の行動をモニタリングし、より社会的なインパクトを高めていくための指標として「AXA for Progress Index」を導入しています。これは、気候変動分野においてリーダー的役割を果たし、インクルーシブ（包摂的）な保険会社を目指す持続可能な成長戦略における 3 つの行動領域の進捗を評価するものです。

アクサジャパンもまた、2024 年 5 月にスタートした戦略計画「AXA Japan 2026」の主要イニシアティブの一つとして「[気候変動対策とサステナビリティ](#)」を掲げ、温室効果ガスの削減や環境・社会課題の解決に向けたさまざまな施策を推進しています。

投資家として

実経済において脱炭素への移行を後押しし、地域社会のレジリエンスを高めます

保険会社として

社会的・経済的に脆弱な立場にある人々をリスクから守るとともに、より持続可能で炭素依存の低い経済への意向を後押しする保険ソリューションを提供します

模範となる企業として

温室効果ガスの排出抑制や地域社会への貢献を通じて、ポジティブインパクトを創出するために行動します

アクサグループの中長期目標「AXA for Progress Index」

- 移行資金として年間 50 億ユーロの投資を行います
- 2030 年までに、アクサの一般勘定資産の炭素集約度を 54%削減¹します

- 移行引受をサポートし、2024 年から 2026 年の損害保険料収入累計を 60 億ユーロ²に引き上げます
- 2026 年までに 20,000 件³以上の気候変動ソリューションおよびサービスを企業に提供します

- 2026 年までに、ボランティア活動への従業員参加率 50%を目指すとともに、従業員の気候適応に関する知識・能力の向上を図ります
- 2030 年までにアクサグループの事業活動による温室効果ガス排出量を 2019 年対比で 50%削減⁴するとともに、カーボנקレジットも活用します



■ アクサジャパンが 2025 年に実行した取組み

投資家として

・ トランジション・ファイナンスの推進

アクサグループは、低炭素経済への移行を支援するため、トランジション・ファイナンスを通じて毎年 50 億ユーロを投資する目標を掲げています。この方針に基づき、アクサ生命は 2025 年に年間目標である 2 億ユーロを上回る 2.66 億ユーロの投資を実行しました。投資対象は、グリーンボンドやトランジション・ボンド、サステナブルな不動産、インフラ資産など幅広いアセットクラスに及び、脱炭素化の推進や持続可能な経済への移行に貢献するプロジェクトや企業を支援しました。

・ 北海道・札幌市との連携による「[ライラックスエア](#)」へのグリーン投資

アクサ生命は、「ゼロカーボン北海道」を掲げる北海道や「環境首都 SAPPORO」を掲げて脱炭素や再生可能エネルギーへの移行を進める札幌市と連携し、札幌市中島公園エリアにおいて高い環境性能を備えた複合ビル「ライラックスエア」へのグリーン投資を実施しました。2025 年 6 月に竣工した同ビルには、アクサ生命が札幌本社を移転し、10 月 1 日に営業を開始しました。同ビルは、札幌市のゼロカーボン推進ビルにも認定されており、建築物の省エネ性能を評価する認証制度「BELS（ベルス）」において最高水準の★6つ、建物の環境性能を評価する「CASBEE（キャスビー）」でも最上級の S ランクを取得しました。加えて、2026 年 6 月には LEED®グリーンビルディングプログラムのゴールド（LEED GOLD®）認証*も取得しました。



*LEED 認証は、米国グリーンビルディング協会（U.S. Green Building Council®）が開発した国際的なグリーンビルディング評価制度で、建物の環境性能や持続可能性を総合的に評価する、世界で最も広く使用されている認証制度の一つです。USGBC®および関連ロゴは、U.S. Green Building Council®が所有する商標であり、許可を得て使用しています。

保険会社として

・ EV・PHEV 向け「[EV 割引](#)」の提供（2016 年以降の型式対象）

アクサ損害保険は、脱炭素社会の実現に向けた取組みの一環として「EV 割引」を 2022 年から継続的に提供しています。「EV 割引」は、ご契約のお車が自家用 8 車種⁵で、型式発売年月が 2016 年 1 月以降、かつ、当社が定めた EV（電気自動車）または PHEV（プラグインハイブリッド車）である場合に割引が適用されます。

・ 「[EV 駆けつけ充電サービス](#)」の提供（電欠時の現地給電支援）

アクサ損害保険は、ご契約の EV の充電が切れ「電欠」状態となった場合に、現地へ駆けつけて給電を行う「EV 駆けつけ充電サービス」を 2023 年から提供し、EV ユーザーの安心をサポートしています。

模範となる企業として

・ ネットゼロへの貢献：温室効果ガス排出削減

温室効果ガス排出削減の長期的なコミットメントの一環として、アクサジャパンは 2025 年に電力（Scope 1 および 2）、社用車、出張に係る温室効果ガス排出量を 2019 年比で 77%削減しました。



- ・ 再生可能エネルギー100%を達成

非化石証書などの環境価値を最大限活用し、全国の営業所などを含む全拠点において、事業活動で使用する電力の100%再エネ化⁶を実現しました。

- ・ 「アクサ ユネスコ協会減災教育プログラム」

「[アクサ ユネスコ協会減災教育プログラム](#)」を通じて、気候変動と減災に対する理解を促す社会啓発活動を 2014 年より継続的に実施しています。本プログラムに参加した各学校では、研修や活動助成を基盤として減災活動に取り組んでおり、これまでに参加した 307 校・395 名の教員が実施した減災教育活動には、生徒だけでなく、その家族や地域住民も参加し、延べ 11 万人を超えました。



- ・ 東京都スポーツ推進モデル企業として 3 度目の認定

東京都から「[令和 7 年度 東京都スポーツ推進モデル企業（支援部門）](#)」として、令和 2 年度、令和 5 年度に続き、3 度目の認定をいただきました。「アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー®日本選手権」や「ホスピタル・ファシリティドッグ®応援プロジェクト」チャリティラン&ウォークなど、長年にわたり推進してきたインクルージョン&ダイバーシティの活動が、先進的かつ波及効果のある取り組みとして評価されました。

- ・ AXA Week for Good

「[AXA Week for Good](#)」は、アクサグループが推進するグローバルな従業員ボランティアプログラム「AXA Hearts in Action」の代表的な取り組みで、グループ全拠点の従業員が、毎年 6 月に寄付やボランティア活動に従事するプログラムです。2026 年は、5 月 9 日から 6 月 30 日まで、「リスクの予防・軽減」と「ソーシャルインクルージョン（社会的包摂）」をテーマに開催し、市街地や川沿いでのクリーンアップ活動やチャリティラン&ウォークのほか、植樹活動、専門家を招いたラーニングセッションなどを実施し、延べ 6,878 人の従業員が参加しました。





・ 高知県・高知市と協働した「アクサの森」プロジェクト

高知県および高知市と、3年間の協働の森づくりパートナーズ協定を2023年7月に締結しました。約12ヘクタールの森林を「[アクサの森](#)」と名付け、本協定を通じた資金拠出により、間伐採などによる森林保護活動を支援し、CO₂吸収に貢献しています。また、地域の皆さまとの交流を深めるため、従業員とその家族が参加する間伐体験ワークショップを2025年10月に開催しました。当初の3年間の協定は2026年3月末時点で満了を迎えましたが、契約を更新し、引き続きパートナーズ協定を継続することを決定しました。



・ ブラインドサッカー®の支援

2006年より日本ブラインドサッカー協会と協働して「あたりまえに混ざり合う社会」の構築を目指したソーシャルインクルージョンの取組みを継続しています。大会などへの従業員ボランティアの派遣のほか、プレー環境の整備や、従業員が選手として活躍できる職場環境づくり、そしてブラインドサッカー®の普及促進にも取り組んでいます。また、2010年からは、小学・中学・高校を対象とした体験型ダイバーシティ教育プログラム「スポ育®」を支援し、チームワークやコミュニケーション、障害者理解などの学びの機会を提供しています。2013年からは、日本選手権を「[アクサブレイブカップ](#)」としてサポートし、その推進活動を通じてインクルージョン&ダイバーシティの理解促進にも努めています。加えて、2017年より「アクサ地域リーダープログラム with ブラサカ®」をスタートし、全国にブラインドサッカー®チームの裾野を広げていくための取組みも継続しています。

※ブラインドサッカー®、スポ育®, ブラサカ®は特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会の登録商標です。

・ シャイン・オン！キッズ

2018年から、認定NPO法人シャイン・オン・キッズを通じて神奈川県立こども医療センターに入院する子どもたちに寄り添うホスピタル・ファシリティドッグ®の支援を行っています。子どもたちが心から笑顔で過ごせるよう、絵本やぬいぐるみの贈呈などの励ましの活動を展開し、2024年、2025年、2026年には「[ファシリティドッグ応援プロジェクト](#)」としてチャリティラン&ウォークを開催しました。2026年3月にホスピタル・ファシリティドッグ®のアニーが引退し、その役割を新たに後任犬のオリが引き継ぎました。アクサジャパンは引き続きオリの活動も支援し、子どもたちに寄り添い続けています。



※ホスピタル・ファシリティドッグ®は認定NPO法人シャイン・オン・キッズの登録商標です。



・ 「AXA Climate Adaptation」 e ラーニングプログラム

2025 年より、従業員への環境啓発活動の一環として、アクサ独自の e ラーニングプログラム「AXA Climate Adaptation（気候適応）」をアクサグループ全世界で導入しています。気候変動が経済、人間、そして社会に与える影響を理解し、気候適応に対する意識を高め、事業活動における気候戦略の遂行をさらに加速させていきます。アクサジャパンでは、2026 年 3 月末時点で、対象従業員の受講率 93%を達成しました。

・ コンポストセミナーなど、従業員の行動変容を促す啓蒙活動

2023 年から引き続きローカルフードサイクリング社の「なつやすみコンポスト大研究」に協賛しており、外部講師を招いてコンポストに関するセミナーを実施するなど、従業員一人ひとりが日常の中でアクションを起こせるような啓蒙活動を定期的に行っています。

・ 日常ですぐにできるサステナブルな取組みを紹介する [アクサオリジナルハンドブック](#)を、E-book として展開

・ 全社用車のハイブリッド車への切り替えを 2023 年よりスタート

・ オンラインツール活用による出張最適化

・ ウェブサービス「[MyAXA](#)」などのデジタルサービス推進による紙削減・書類電子化

1. 対象範囲: 企業債務および株式、不動産株式
2. 対象範囲: アクサ・フランス、アクサ・ドイツ、アクサ・スイス、アクサ・イギリス、アクサ・ベルギー、アクサ・香港、アクサ・メキシコ、アクサ XL。単位: 総収入保険料(GWP)。期間: 2024 年から 2026 年の累計。
3. 対象範囲: アクサ・フランス、アクサ・ドイツ、アクサ・スイス、アクサ・イギリス、アクサ・ベルギー、アクサ・香港、アクサ・メキシコ、アクサ XL。単位: 総収入保険料(GWP)。期間: 2024 年から 2026 年の累計。これには、(i) 研修/教育、(ii) リスク評価/意識向上、(iii) ギャップ分析、(iv) 予防/適応策、および/または (v) 危機管理/修復対応が含まれる。
4. 対象スコープ: エネルギー (Scope1 および 2) と自動車、出張に伴う温室効果ガスの総排出量を 50%削減し、残りの排出量については、カーボンクレジットを活用。(Unit: tCO2 eq.)
5. 自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽四輪乗用車、自家用小型貨物車、自家用軽四輪貨物車、自家用普通貨物車（最大積載量 0.5 トン以下）、自家用普通貨物車(最大積載量 0.5 トン超 2 トン以下)、特殊用途自動車（キャンピング車）
6. CSRD(Corporate Sustainability Reporting Directive)の報告基準に準拠し、報告対象となる全拠点の電力使用量相当分に非化石証書を活用しています。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはアクサのメンバーカンパニーとして、2019 年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険の 2 社を擁しています。

アクサグループについて

アクサは世界 52 の国と地域で 156,000 人の従業員を擁し、9,200 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2025 年の売上は 1,155 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングスは 84 億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2025 年 1 月～12 月の業績です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社
コミュニケーション・ブランド & サステナビリティ
電話：03-6737-7200

<https://www.axa-holdings.co.jp/>